

な活躍をされているのかを、これから聴いていきたいと思います。

近藤 私は、静岡市の鷹匠で生まれ育ち、東京の大学に進み、東京のアパレル産業で働いていました。思うところがあつて、静岡に戻ってきて、インテリアコーディネーターから、建築の業界に入りました。働きながら、子どもを育てて、主婦・働く女性の目線から家づくりをしています。

永松 静岡の高校を卒業後、アメリカカリフォルニア州の短大を卒業しました。帰国後、英会話スクール、人材派遣会社を経て、広告代理店に転職し、印刷物・ウェブサイトを映像の制作、展示会のコーディネートをやりました。東京で結婚して二人目の子どもを生んだ2008年に静岡に戻りました。静岡ではフリーマガジンの編集に約8年間携わり、現在も様々な編集の仕事をしています。

三輪 清水区出身で、ヤマハ音楽院エレクトーン科を卒業して、ヤマハ音楽教室の講師になりました。ひとりで子ども2人を育てながら自立するため、日本平ホテルさんをはじめ静岡市内の結婚式場での演奏と演奏家の派遣、高齢者施設での音楽療法など、音楽に関わる事業を始めました。

杉山 静岡の高校を卒業後、東京の大学に進学しました。御殿場市・小山町内で約20年勤務し、6年前に帰静しました。家事代行のアルバイトで自信をつけ

ることができたので、母を助けることと自分の老後を考えて、2017年5月に独立しました。

自分の能力を活かして、お客様の期待に応えたい

花井 皆様の仕事への需要は、どの程度あるのでしょうか？

杉山 ひとり暮らしの高齢者、ひとり暮らしの若い男性、共働きの家庭が3分の1ずつ。一度ご利用いただくと、便利さを感じていただけます。東京では外国人を雇うほど普及していますので、静岡でも認知度が高まっています。料金は2時間で7千円と消費税。距離によつては交通費をいただきますが、高齢者は1割引、介護認定者はさらに1割引。1Kのひとり暮らしは1時間半5千円。妊婦さんや小学生未満のお子さんのある家庭は2時間5千円にしています。

三輪 少子高齢化で、結婚式が少なくなっています。かつては派手婚でしたが、いまはナシ婚で、会場だけを借りる形が増えていきます。葬儀も家族葬、直葬と、音楽をはじめ、いろいろなことを省く傾向にあります。そういう時代だからこそ、音楽



ミュージックプランニングMiwa 代表 三輪はるかさん
人の身体は良い言葉や良い音楽を聴くと、良くなります。

を大事にして、良いことができなかつたか考えています。人の身体は「ありがとう」などの良い言葉や良い音楽を聴くと、良くなつていきます。寝たきりのお年寄りが好きな歌を毎日歌い続けていたら元気になるので、介護される側から、介護する側にまわつたことも目撃しました。

永松 高校までを過ごした静岡は、もつと楽しかった印象があつたので、静岡をもつと面白くできるのではないかと思いつりマガジンの編集に携わりました。8年後、これまでの英語教育や外資系企業との仕事の経験を活かして、海外に静岡を発信する方法を考へようになりまし

た。静岡の一番の魅力は人だと思つています。取材編集を通じて、静岡の様々な人に出会つたので、この人たちが取材して発信することが自分の使命ではないかと思へるようになりました。そこで、静岡を編集する会社という意味で、静岡編集舎という社名を付けました。

近藤 お客様は、大手住宅メーカーさんに依頼する方と、こだわつた住宅を建てたい方に2極化しています。こだわる方は、数は少ないかもしれませんが、必ずいらつしやるので、そのこだわりに応えていきたいと思つています。

自分の能力を磨き、人を育て、海外に発信する

花井 皆様が今、乗り越えなければいけないハードルは何ですか？



静岡県中部のインバウンド推進「IN SHIZUOKA.COM」

(株)静岡編集舎
代表取締役社長／永松典子
創立／2016年
静岡市葵区瀬名7-26-30
電話／054-6599-4640

静岡人みんなが「静岡」編集人！を合言葉に、静岡の企業、人、モノ、コトを取材編集、そして発信する編集プロダクションです。
印刷物、ウェブ全般をはじめ、企画／取材／編集などの制作全般、会社案内、冊子、カタログ、パンフレット、記念史、ポスターなど広告全般、販促の企画・編集デザイン、イベント企画運営等。インバウンド推進事業としてポータルサイト「IN SHIZUOKA.COM」の企画運営、フリータブロイド誌「FINDS」の編集発行を行っています。

<https://www.facebook.com/shizuoka.henshusya/>